



YOKOHAMA ASAHI ROTARY CLUB WEEKLY

「ロータリー：変化をもたらす」 Rotary: Making a Difference

2017-18年度 RI会長／イアン H.S.ライズリー RI.D2590ガバナー／湯川 孝則 横浜旭RC会長／滝澤 亮

国際ロータリー第2590地区

横浜旭ロータリークラブ

事務所 横浜市旭区二俣川1-37-3 NUTS1階/〒241-0821
TEL.045-465-6702/FAX.045-465-6712
http://yokohamaasahirc.cho88.com
Email:asahirc@titan.ocn.ne.jp

例会場 横浜市旭区二俣川1-45-30工藤ビル
(㈱岡田屋3階会議室)

例会日 毎週水曜日/12時30分～1時30分



旭区民まつりにて熊本みかん販売



熊本自転車支援



ガールスカウトとクリーン作戦

2018年1月10日 第2320回例会 VOL. 49 No. 25

- 司 会 副SAA 北澤 正浩
- 開会点鐘 副会長 佐藤 真吾
- 斉 唱 君が代、奉仕の理想
- 出席報告

会員数	32名	本日の出席数	25名
本日の出席率	83.33%	修正出席率	96.43%

■本日の欠席者

五十嵐、宋、滝澤、福村、本山

■他クラブ出席者

新川（横浜港北RC）

■1月誕生記念祝



今野 丁三会員 1.26
 二宮 登会員 1.7
 太田 幸治会員 1.12

■第1回米山功労者受賞

北澤 正浩会員



■会長報告 佐藤 真吾

新年あけましておめでとうございます。

会員の皆様におかれましては健やかに新春をお迎えの事と思いますが、今朝ほど滝澤会長が呼吸困難に陥り救急搬送されたと事務局に連絡が入りました。容態については詳細がわかりません。情報が入り次第ご報告させていただきます。そのような事から急遽代役を務める事になりましたのでよろしくお願い致します。

○クラブ関係

1) 去る12/20(水)・21(木)は岩沼での恒例のサンタクロース訪問でした。



20日は北澤さん、21日は増田さんと私で行ってまいりました。私が訪問したのは昨年同様、竹駒保育園でした。100名を超える園児から熱烈な歓迎を受け、岩沼RCの方々と一緒に一人一人にプレゼントを渡しました。園児達からはお礼にと歌をプレゼントしてもら

いました。とても心温まる楽しいひとときを過ごさせていただきました。

訪問後は岩沼 RC 国井会員のお店「おくに寿司」でお寿司をいただきながら、岩沼 RC の会員の方々と交流を深め帰途に着きました。

2) 年が明けて 1/7 (日) に第 7 回チャリティーコンサートが開催されました。福村部会長をはじめとするチャリティーコンサート部会の方々、当日ご参加いただいた会員の方々本当にお疲れ様でした。

3) 1/26 (金) は瀬谷 RC との合同例会です。場所は三ツ境ライフコミュニティサロン 12 時 30 分点鐘です。当日の出欠の最終確認を回覧しますのでご確認をお願いします。

4) 来週 1/17 (水) の例会はクラブ協議会です。

各委員長は発表の準備をお願いします。

5) 本日は職業奉仕フォーラムです。

増田職業奉仕委員長よろしくをお願いします。

■幹事報告

1) 例会臨時変更のお知らせ

○新横浜ロータリークラブ

日時 2月23日(金)夜間例会

2) 新年明けましておめでとうございます。

年もかわり気持も新たにクラブの為に滝澤会長と共に幹事の役を務めたいと考えております。又、年度も折り返しの時点となり、残りの半年についても会員皆様のお力をお借りしまして次期にバトンタッチさせたいと思っております。今年もよろしくお願い致します。

滝澤会長急病のため、本日は佐藤副会長、宜しくおしいたします。

■2590 地区みなとみらい

チャリティーマラソン大会ご案内

北澤 正浩

きたる 2 月 10 日(土) にみなとみらい臨港パークで「2018 ロータリーみなとみらいチャリティーマラソン」が開催されます。是非ご参加お願い致します。大会の賞品をご提供いただける方も募集いたしております。御協力をお願い致します。

■雑誌委員会

増田嘉一郎

○ロータリー 1 月号の紹介

1) 横組み

(1) 3 頁

RI イアン H.S. ライズリー会長のメッセージである。地域社会の現状を正確に反映しているクラブは、より一層効果的に地域社会に奉仕することができ、この多様性がロータリーにとって重要であるという。職業分類だけではなく、会員の年齢構成、

女性会員の比率など、多様性を反映したクラブを築き上げることで、ロータリーの変化をもたらす価値が築かれるとのことである。

(2) 8 頁

今月は職業奉仕月間である。元 RI 理事松宮剛氏による「職業奉仕を考える」が記載されている。まず、職業奉仕には二つの要素がある。一つは職業が元来受け手のニーズに合わせるということで、受け手の意向に沿う事が大切だということ、もう一つは職業を構成している仕事が常により良いものを目指しているということである。松宮氏はロータリーの職業奉仕も、RI がいう職業的なスキルを奉仕活動に活かすというより、意義ある事業の基礎は奉仕の理念を生かすという「奉仕の理念」、「サービスという考え方」をそのまま職業に適用したという。日本のロータリーがいう伝統的職業奉仕を主張する。ただロータリアンの金看板とされた職業に対する強い熱意だけではなく、そこには基本的原則として内実に導かれる「ロータリーの親睦」を看過してはならない。親睦こそが職業奉仕をロータリーの金看板たらしめる強い力となっているという。

(3) 12 頁

「私が実践する・考える職業奉仕」と題して各ロータリアンの職業奉仕の具体例が掲載されている。ここでは日本の伝統的職業奉仕論にたつ例と、職業のスキルを生かすという RI の職業奉仕の考えを実践する例とが挙げられている。

(4) 16 ページ

ロータリー地域社会共同体 (RCC) の具体例である。RCC とはロータリークラブと協力して活動するロータリアン以外の人になるグループで日本では 40 の RCC が活動しているとのことである。

2) 縦組み

(1) 4 頁

企業人のための危機管理と題しての講演録である。ポイントとして、①最初で見極める②正対して構えない③記録すること④心で動く、心で判断するの 4 つを指摘し、具体的な例を挙げて解説している。

(2) 9 頁

クラブを訪ねては福島県の飯坂ロータリークラブである。会員にはグループサウンズ「ザ・ジャガーズ」のキーボード奏者佐藤安治さんがいるとのことである。飯坂けんか祭りを中心に同クラブの活動が紹介されている。

(3) 14 頁

友愛の広場に、宋謹衣会員の投稿が掲載されている。15 頁の写真の真ん中でパイプ椅子をもつ

ているのは、斎藤善孝さんか、内田敏さんか。

(4) 25 頁

ロータリーフットワークでは上段の「木湖会との懇親会を開催」と中段の「ビール電車『酔電』でローカル線支援例会」が目をついた。

マスコミという定例懇親会は、当地区、あるいは当クラブでも考えてもいいのではないだろうか。また、ローカル線に乗っての例会もこの周りでは適当なローカル線というのではないだろうが、衰退する場所を盛り上げる例会を開いてもいいのではと思った。

■ニコニコ BOX (会員敬称略)

佐藤 真吾／①皆様新年明けましておめでとうございます。本年もよろしくお願ひします。

②本日は職業奉仕フォーラムです。増田委員長よろしくお願ひします。

田川 富男／新年明けましておめでとうございます。滝澤会長不在で残念です。今年も宜しくお願ひ申し上げます。

北澤 正浩／①あけましておめでとうございします。本年もよろしくお願ひ致します。②増田さん、職業奉仕フォーラムよろしくお願ひ致します。

岡田 清七／明けましておめでとうございします。元旦は瀬戸内で過ごしてきました。本年もどうぞよろしく。

二宮 登／本年もよろしくお願ひ致します。

安藤 公一／①新年明けましておめでとうございします。今年も宜しくお願ひします②11/7のチャリティーコンサート、お疲れ様でした。福村さん、新川さんご苦勞さまでした。

③相鉄線鶴ヶ峰―二俣川間の連続立体交差が地下化となる事が昨日横浜市より発表されました。5年で計画決定し、6年後より着工、施工期間は約11年を目論んでいます。

関口 友宏／明けましておめでとうございします。クラブの発展を祈念して。

吉原 則光／①新年おめでとうございします。旭 RC の益々の発展を祈念いたします。②増田会員の卓話楽しみです。宜しくお願ひします。

兵藤 哲夫／①今年初めての例会、あらためまして、おめでとうございします。本年もよろしくお願ひします。②福村さん、新川さん、チャリコンご苦勞様でした。

佐藤 利明／①新年おめでとうございします。今年も宜しくお願ひします。②増田先生、卓話楽しみです。③兵藤先生、クリスマスの写真ありがとう。

大川 伸一／①新年明けましておめでとうご

ざいします。本年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。②増田さん、今年初の卓話をどうぞよろしくお願ひします。

目黒 恵一／あけましておめでとうございします。本年も宜しくお願ひ致します。

増田嘉一郎／あけましておめでとうございします。本日は職業奉仕フォーラムです。よろしくお願ひします。

倉本 宏昭／①皆様、新年おめでとうございします。②先日の旭チャリティーコンサートお疲れ様でした。

後藤 英則／①新年明けましておめでとうございします。本年も宜しくお願ひします。②チャリコン部会の方、ご苦勞様でした。

内田 敏／①皆様、明けましてお目出とうございします。本年もよろしくお願ひいたします。②増田さん、本日のフォーラム宜しくお願ひします。

太田 勝典／新年あけましておめでとうございします。本年も宜しくお願ひ致します。

新川 尚／①チャリコンへ御協力、ありがとうございました。②仙台のお菓子は年末に岩沼 RC 会長渡辺さんが来られた際に皆様へとお預かりしたものです。是非お召し上がり下さい。

今野 丁三／昨年の誕生日、大台に乗ったかと思ったら早くも1年が過ぎました。今年からは毎年、年を取ることにしたいものです。

市川 慎二／①新年明けましておめでとうございします。②増田さん、職業奉仕フォーラム宜しくお願ひ致します。③チャリコンお疲れ様でした。

青木 邦弘／本年もよろしくお願ひします。

齋藤 善孝／明けましておめでとうございします。今年もよろしくお願ひします。

須藤 亘／新年明けましておめでとうございします。本年も宜しくお願ひします。未熟ながら力になれるよう引き続き頑張ります。

■職業奉仕フォーラム 増田嘉一郎

1)「職業奉仕」への問題提起
(伝統的職業奉仕論を維持するのか)

(1) はじめに

―昨年12月、今年度の職業奉仕委員長への就任が決まって以来、今日の職業奉仕フォーラムをどうするかということを考えてきた。しかし、そういう目で「ロータリーの友」やマスコミの動きを見ていると、結構いろいろな題材が目飛び込んでくる。この1年間位に起きた職業奉仕に関すると思われる問題を



いくつか取り上げ、皆さんに問題提起をすることにした。

(2) 職業奉仕の位置付け

まずは、作年の職業奉仕月間である「ロータリーの友」平成 29 年 1 月号に刺激的な論稿が掲載された。

日本のロータリー 100 周年委員会ビジョン策定特別委員会委員長、本田博己パストガバナーによる「職業奉仕はロータリーの根幹か?」と題するものである。その概要を紹介する(筆者の理解に従って整理している)。

日本以外の世界のロータリーは、当然のように「職業奉仕」を他の四大奉仕と並ぶ一つの奉仕部門として位置づけている。標準ロータリークラブ定款第 6 条は、個々のロータリークラブの活動のための枠組として、クラブ会員が五大奉仕部門で、行うべき行動・活動を示す。

第二部門の職業奉仕についても、「事業および専門職務の道徳的水準を高め、品位ある業務はすべて尊重されるべきである」という認識を深め、あらゆる職業に携わる中で奉仕の理念を実践していくという目的を持つものである。会員の役割には、ロータリーの理念に従って自分自身を律し、事業を行うこと、そして自己の職業上の手腕を社会の問題やニーズに役立てるために、クラブが開発したプロジェクトに応えることが含まれる。」という。

これは 2016 年規定審議会で改正されたものであるが、R1 定款や細則に示されず、標準ロータリークラブ定款だけに示されたこの改正により、職業奉仕部門を含めた五大奉仕部門の全てが、個々のロータリークラブの活動の枠組であることが明確となった。

我国のシニアリーダーが伝統的に語ってきた「職業奉仕」論と RI が提唱する「職業奉仕」とはあまりに違っている。ロータリーの理念の根底に「職業奉仕」を位置づける日本の伝統的議論とは異なり、RI が示す職業奉仕は、クラブ活動の枠組である五大奉仕部門の

一つとしての「職業奉仕部門」なのである。

日本のロータリーで言い習わされている「職業奉仕」と RI が考えている「職業奉仕」との違いがわかる例として、2013 年版手続要覧に載っていた「職業奉仕月間」の解説がある。この手続要覧によると、「職業奉仕月間」は、クラブが職業奉仕の理念を日々、実践することを強調する月間である。この月間中に推奨されるクラブ活動には、地区行事でのボランティアの表彰、ロータリー親睦活動への参加の推進、職業奉仕活動またはプロジェクトの実施、未充填の職業分類に焦点を当てた会員増強の推進などが含まれる、とある。

「職業奉仕」という言葉で、世界のロータリアンは奉仕の一つとしての職業奉仕活動を語り、日本のロータリアンは「奉仕の理想」の職業への適用や自分自身の職業感を語る。このズレを解消できないでいることが、大げさに言うと世界のロータリー運動の中で、日本のロータリーのガラパゴス化(日本独自の方向で多機能・高機能化した製品サービスや排他的で規制の多いマーケットなど、国際標準からかけ離れている日本の産業の現状を批判的に表した新語)を招いている一因と思える。

日本の「職業奉仕」論は、世界では「(職業)倫理」というテーマで論じられている。ロータリーの目的(R1 定款第 4 条、標準ロータリークラブ定款第 5 条)の第 2 項には、「職業上の高い倫理基準を保ち、…」と謳われている。4 か条からなるロータリーの行動規範の第 1 条には、「個人として、また職業において高潔さと高い倫理基準をもって行動する」とある。高い職業倫理感をもった高潔な人格がロータリアンには求められている。日本の伝統的な「職業奉仕」論はこのことを強調しているのであろう。

本田パストガバナーは、日本の「職業奉仕」の理解は正しい、「職業奉仕」は他の部門とは違うとして、クラブの職業奉仕活動を否定する態度は間違っている。「職業奉仕」という言葉は、五大奉仕部門の第二部門である「職業奉仕部門」の活動だけに使い、日本でいわれている「職業奉仕」は、世界共通の「奉仕の理念(奉仕の理想)」という言葉を使い、ロータリーの理念についての議論を深めていこうと提案している。「奉仕の理念」がロータリーの根幹だからである。

日本の伝統的「職業奉仕」論で培ってきた「職業倫理」や「高潔性」に関するロータリアン

の智慧を、共通語の「奉仕の理念」で世界に発信していくことが重要である。このまま意識のギャップが拡大していけば、日本のロータリーが世界の中で孤立していくことが懸念されると、結んでいる。

(3) その後の議論

「ロータリーの友」4月と5月に反論が掲載された。その後も反論は続いている。4月号では、2007～08年度RI職業奉仕委員会委員という廣畑富雄氏が反論した。「職業奉仕」という日本語は、Vocational Serviceを訳したものであり、元来「サービス」という概念は、「奉仕」よりも広い概念、相手をおもんばかり相手のためになる行為である。米山梅吉氏も、「サービス」は英語のまま使う方が良いと言っている。職業サービスは、職業を通じたサービス、相手に対して思いやりの心をもって接することを言う。アーサー・F・シェルドンは、このやり方でビジネスをすると、長い目でみれば、永続的な顧客を獲得し、成功の道へ通じると言う。ロータリーの二つの標語の一つ、「最もよくサービスする者、最も多く報いられる」が生まれる。ポール・ハリスも、職業サービスは、高い倫理性を求めることだと述べている。サービスという相手を思う行為には、高い倫理性が伴うのである。ロータリーは、激動の時代を迎えた。今は、社会奉仕、特に発展途上国への援助が重視される。世界のロータリアンは、近年も120万人と変わらないが、この10年間に発展途上国では約10万人増加し、先進国では約10万人減少した。例会も、会員資格も緩和された。ロータリーは百余年の歴史と伝統を重視する日本のロータリーにとり厳しい時代となった。しかし、我々は良き伝統は保持し、それを世界に拡大していきたいと考えている。日本のロータリーは、ロータリー百余年の良き伝統は保持してきた。我々はロータリーの基本を守り、我々の信ずるところを、世界に伝えていく。それが世界のロータリーに、大きな貢献となるのではないだろうか、という。

5月号では、呉ロータリークラブの大之木精二氏も反論した。日本にロータリーが移入されてから急速に発展した歴史の背景には、日本古来の職業観がロータリーの職業奉仕と合致することに共感した先達の英知があり、それが「奉仕の理想」の受容と相まって、彼らをロータリーに駆りたてた状況があったからである。

今、職業奉仕は、日本のロータリーのDNAとして高い評価が定着している現実には、いかんともなし得ない。基本に悖とまらない限り、国によって強弱が存在することを認め、どちらが上でどちらが下といった思考を良しとしない寛容さを、私達は先輩から教えられてきた。五大奉仕を等位概念と考える世界の大勢を否定するのではなく、職業奉仕が中心にあり、そこから四部門の奉仕の輪が広がりそれを結んだ輪の上に関連する諸活動が広がって回転するという佐藤千尋氏の見解があってもおかしくない。RIが示した方針と傾向が世界の大勢であるから右へ倣えではなく、国による差異を、それぞれの国別のロータリーの個性として共に容認する懐の深さを、ロータリー百余年の歴史が培ってきたのである、という。

日本のロータリー観を維持せんとする伝統派からは、本田パストガバナーへの批判は続く。日本のロータリーは、「職業奉仕」をロータリーの根幹と考える伝統を堅持していくのであろう。しかし、本田パストガバナーの論稿は、多くのロータリアンに分かりにくかった日本の伝統的「職業奉仕」の概念を、分かりやすく明解にしてくれたことは間違いないであろう。

2) 職業奉仕論の実践

〈職業奉仕論は実践できるのか〉

(1) 日産、神戸製鋼等の問題

次にこの伝統的職業奉仕論の実践について考えていく。実は今年度当初は、「安全と安心」の問題を取り上げようと思い、会員皆様にアンケートをお願いした。

ところが、10月位から日産の無資格者による完成検査の問題や神戸製鋼の鋼やアルミ資材の品質違反の問題から、さらに三菱マテリアルや東レと大企業がマスコミを賑わしている。伝統的職業奉仕論は、事業者にとり実行することが非常に厳しいと言われている中で、職業奉仕の実践という面からこの問題を見た場合、興味深い問題を提起している。安全・安心に行く前にこの問題から取り上げていく。

(2) 職業奉仕と安全の透問

マスコミの報道によると、日産の問題にしる、神戸製鋼の問題にしる、東レの問題にしる、安全という面での客観的安全基準からは、安全といえる可能性がある。日産は、出荷前の製品の、国から委託された最後の検査を無資格者が行っていた。検査能力がある無資格者だったのかもしれない。神戸製鋼は銅やア

ルミ資材が顧客との取引契約で定められた仕様を満たしていなかったが、日本工業規格のJISの基準は満たしていたという。東レは安全性に問題がないので公表をしなかったとのことである。いずれも安全な製品といえるのかもしれない。しかし、コンプライアンス（法令遵守）には違反するし、職業奉仕の理念にも反するものであろう。両者に透間がある。そこで次の問題である。会員が事業所の責任者として、職業奉仕の理念をもって事業所を運営していく。しかし、さらにガバナンスの問題がある。その理念を事業所の組織全体で共有するにはどうしたらいいのかである。従前から各業務を担当している従業員が自己の担当業務に求められるコンプライアンスを理解し実践できれば、人を増やす必要はない。しかし現実はそのとはいかない。企業では、コンプライアンス部を設けたり、少なくともコンプライアンスの担当者を置いて、コンプライアンスの徹底を計っている。

このコンプライアンスの担当者は、従来の職務に追加して企業の「コンプライアンス」という業務を負担することになり、通常は残業に追われ目一杯仕事をしている人が多く、別の人を雇うことになる。また、コンプライアンスのために、事業所によっては、法改正により新たに有資格者の配置を要することもある。事業所にとっては人件費の負担が増える。工場における上下水道の設備やゴミ処分等の環境対策の費用もかかる。コンプライアンスというのは、お金がかかるのである。日産が今回の問題を起こしたのも、有資格者を養成する人件費と年数が間に合わず無資格者が代印を押していたのである。神戸製鋼や東レは取引先毎の異なる仕様の製品を生産する費用と効率を考え、同一仕様であるにかかわらず、取引先別製品であるかのように、データを改ざんしたのである。要するにガバナンスを強化し、事業所全体でコンプライアンスを維持するとなると、費用はかかるし効率が悪いのである。

(3) 理念を実践守る方策

企業における経営理念として、渋沢栄一は「道徳と経済の合一」と言った。しかし、両者の調和は可能なのであろうか。日産と神戸製鋼は、現場が、あるいは全社一体となって、効率だけを考え、利益主義に走ったことがその原因となった。社長がいくら口ではコンプライアンス重視を唱えても、組織の上層

部から売上ノルマを課せられ、経費削減、コスト削減を指示されたなら、現場は利益追求に走らざるを得ない。経営理念の維持には費用がかかるのである。日産の無資格者の検査というのが、行政手続き上の問題で、神戸製鋼の取引契約における民事上の問題とはなるが（相手には損害がないかもしれない。）、いずれも安全に問題がないというので、彼らはコンプライアンスを無視したのである。しかし、偶々運が悪く内部通報者がでたため、発覚し、企業は信用を喪失し、ISOの資格も取り消され、又莫大な損害も発生することになりそうである。

皆さんの事業所でも、今後同じ問題が起こる可能性がないと言い切れるのであろうか。経費削減、効率性と利益追及だけを目指していると、今後も起こりうる問題である。今、言えることは、事業所内にコンプライアンスの意識を浸透させると共に、そのための人員を配置し、事業所内環境を整備するということである。これをコーポレート・ガバナンスといい、長期的な企業価値の増大に向けた企業経営の仕組みを作るのである。

ロータリアンは職業奉仕の理念を実践し、自らの組織全体に浸透させることは頭では分かっている、それを実行できるかである。コンプライアンス自体、全く生産性がない部門である。しかも、コンプライアンス、職業奉仕の理念の実践には、お金がかかる。そのことを無視しては通れない。

もう一方の経理理念である効率性、経済性とは二律相反のところがある。企業における毎月の予算会議等では、毎月の月次収支をもとに当年度予算の達成度を数値で追いかける。神戸製鋼、東レに関してみるなら、その資料から、現場が作成した数字が、本来求められるべき顧客別品質の製品を製造するための数値かを見破ることができるのかである。これは極めて難しい。コンプライアンスを組織内で徹底させるところに、事業経営の難しさがある。結局、各事業、各事業所で経費を増やしてもコンプライアンスを維持するための組織を設けざるを得ないのであろう。しかし、既にそのための組織を設けていた日産、神戸製鋼、東レなどでは、それでも発見しえなかったと、役員は言っている。職業奉仕は、言うが安し、行うは難しである。

一つの回答を示した書物を紹介する。光文社新書、山口周著「世界のエリートはなぜ『美

意識を鍛えるのか？経営における「アート」と「サイエンス』である。同書によると、今日、論理的思考からの客観的なモノサシで高い目標値を課して達成を求めるサイエンス重視の意思決定では、ビジネスの舵取りに限界がある。組織に属するものには、論理や理性で判断できないときに、自分なりの「真・善・美」の感覚、つまりアートにおける「美意識」から感性や直観で判断する能力が求められている。さらに、美意識を「ビジョンの美意識」、「行動規範の美意識（法ではなく、道徳、倫理）」、「経営戦略の美意識」、「表現の美意識」など様々な企業活動の場面で分析し、経営上の判断基準を例示している。組織の内部で、組織に属する人に対し、システムの改善を試みる戦略のスキルとして、美意識に基づいた自己規範を身につけよ、というのである。事業所の役員や従業員に対し、「コンプライアンス」や「企業行動規範」を守れと口酸っぱくいうよりは、具体的な分析結果を明示しての「アートの美意識を鍛えろ」という方が分かりやすいであろう。

3) 職業奉仕における安心・安全対策 (特に安心対策への取組み)

(1) 安全

次に、職業奉仕論の実践としての安全・安心の問題に入っていく。

まず、「安全」とは、広辞苑によると、「安らかで危険がないこと。平穩無事。物事が損傷したり、危害を受けるおそれがないこと。」と定義されている。日本人の多くは、「危険がゼロであること（絶対約安全）」を、安全と認識している。

しかし、科学技術、あるいは労働管理の分野では、安全は「許容できない危険（リスク）がないこと」と言っている。事業所の安全も、この意味での危険を考えることになる。危険には、顕在的危険、潜在的危険、遠在的危険がある。予見した危険を支配し除去するか、許容できる限度に希釈し低減するか、中和するか、回避するかである。企業、事業所において安全対策を考える上では、少なくとも潜在的危険を予知し対策を講じることが必要となってくる。

(2) 会員事業所の安全対策

昨年7月に実施したアンケートに答えてくれた会員の安全対策を紹介する。

ア．飲食店（仕入れ）

業者に年4回の衛生検査の実施依頼、及び

従業員、アルバイトの検便検査の実施。アルコール除菌スプレーをまな板、包丁、テール、カウンターや手に噴霧。

イ．LP ガス販売

安全対策業事業の根幹である。24時間、365日（待機）体制維持し安全（保安）に努める。地震対策は、一定量の食料を備蓄。

ウ．診療所

月次で安全対策の委員会を開催。内外の情報を共有し各部署間の意識レベルを併せ、安全保持の一貫性維持。

「ヒヤリハット」対策をこまめに行う。

エ．病院

安全対策のための体制として、

- ①各部署におけるダブルチェック
- ②患者間違い防止のための方策
(診療開始前に本人のフルネームと生年月日を言わせる)
- ③患者のIDカードを切り離さない
- ④チーム診療など。
- ⑤ヒヤリハット事例の報告
- ⑥医療安全チームを設け最小単位組織での都度ミーティング
- ⑦リスクマネージャー会議
- ⑧毎月の管理者による医療安全会議での協議
(課題や対策)

オ．農業

- ①無農薬、有機栽培
- ②健康に良いとされる農産物の生産。

各事業所はいずれも、潜在的危険を視野に入れて、安全対策を立てていることが分かる。ヒヤリハットというのは、事故に至らなくてもヒヤリとか、ハットした事例を報告し、原因となった危険を把握し対策を協議するものである。労働災害は、ハインリッヒによると、1:29:300の割合で発生するという。300回の作業で29回のヒヤッとしたでき事があり、残る1回が重大事故となるという。

ボーイスカウトにおいても危険予知能力のトレーニングに取り入れている。子ども達には、紙芝居のようなハイキングやキャンプの一場面を絵にしたものを見せ、どこに危険があるかを指摘させ、そのような危険が生じないようにするにはどうしたらいいか考えさせるものである。

JAFから送られてくる雑誌には、交通事故への危険を指摘させる写真がでており、見たことがある人も多いであろう。あれがヒヤリハットのトナーニングである。各事業所にお

いても応用したらいかがかと思う。

(3) 安心

小池知事が豊洲の移転問題で安全と安心ということを出して以来、これ迄法的場面では登場していなかった「安心」ではあるが、これがロータリーの職業奉仕において意味を有するのか、考えてみたいと思った。安心は、安心立命を略したもので心を平安に保つこと、いつも落ち着いていることとあり、受手の主観的なものである。危険（リスク）が潜在するが、その安全対策が検討され、危険が許容できる水準内に抑えられていることについて、十分な情報が得られ、不安や疑問が解消され、事業者の取り組みに対し顧客の信頼が形成されている状態といわれる。小池知事がいう安全と安心の安心とは、まさにこの意味であろう。今は、情報化社会である。顧客の安心のために情報を与える一番の方法は、マスコミによる報道であろう。一般の事業者と考えられる方法としては、事業者自らが顧客へ情報を発信することになる。この意味での安心対策を考える。

(4) 会員事業所の安心対策

会員事業所における安心対策について、アンケートの結果を紹介する。

ア．LP ガス販売

迅速で親切なサービスに勝る安心はない。電話回線を活用したユーザー集中監視システムの採用と、会社発行のミニコミ紙によるユーザーとのコミュニケーションの促進。

イ．診療所

各職位レベルでクライアントの接点を大事にし、話しやすい状況を作るように心掛る。

お二人共に、人の身体、生命、あるいは財産に直結する義務であり、安心対策には関心が深いのであろう。人の身体、生命、財産に直結する事業においては、事業所の社会的責任としても、安全対策と相伴って、安心対策を講じる事が求められているということである。今、多くの事業所でも行われている情報提供手段としてのホームページも、これらの事業においては、安心対策という面からの発信が必要となろう。

(5) 職業奉仕における安全・安心

改めて、職業奉仕における安全・安心を考えてみる。ロータリーの職業奉仕訓として、1954-55年度R1会長ハーバート・J. テーラーが提唱した四つのテストがある。「安全」は、4番目の「みんなのためになるかどうか」の

問題である。「みんな」というのは、ステークホルダーも含めた関係当事者のことである。（日産、神戸製鋼、東レには「真実か」の問題もあるようだが、それはおいておいて）。事業所においては、安全基準を維持し安全対策を講じるために、組織的に対応する必要がある。それが職業奉仕の実践である。

「安心」についても、「みんなのためになるかどうか」に当てはめて良いとも考えられるが、無理に四つのテストに当てはめる必要もないという考え方もあろう。現段階においては、少なくとも、人の身体、生命、財産に危害を及ぼす可能性のある事業となろうが、職業奉仕として、職業理念として、安心対策がある、それで十分だという考えである。他方、自らが安全対策を講じていれば、安心対策など必要ないと考える人もいるだろう。

受手の主観に訴えるために、事業者としての情報を発信する。情報を受けた相手は、発信者の事業を評価する。その評価が安心に結びつくかである。顧客との信頼関係を築くために、自らの実行している安全対策の情報を関係者に発信するというのが、安心対策となろう。しかし、将来の顧客をも含めた何らかの関係をもつであろう人にも安心を与えるという視点から考えると、これはいわゆる「評判」ということになるのかもしれないが、発信の相手方は、その時の関係者だけではなく、社会全般ということになる。そして、それが結果的に事業の拡大へと結びつくのであろう。残念ながら、安心に関するアンケートの回答は少なかったが、四つのテストに含まれようと、含まれまいと、いずれであっても、少なくとも、人の身体、生命、財産に危害が及ぶ可能性がある事業においては、事業者の責任として、我国の伝統的職業奉仕論の実践として、取り組むべき課題の一つとして、安心対策がある、ということになるのであろう。この職業奉仕の実践も難しい。

しかし、今の情報化社会において、今後、安心対策がどのようなレベルに、そして情報発信責任がどのような事業に拡大していくのか、職業奉仕の観点からの課題となろう。注目していきたい。

■次週の卓話

1/24 (水)→26 (金)移動例会 12:30 点鐘

横浜瀬谷 RC との合同例会

場所 三ツ境ライフコミュニティーサロン

週報担当 吉原 則光